



食品などについているお馴染みのベルマーク。皆さんも、それを学校に持っていった経験があるのではないのでしょうか。近頃は、町内の公共の場所でもその収集箱を見かけます。しかし、ベルマークがどんな仕組みで、何に役立っているのかは、あまり知られていないようです。今回は、町内の幼稚園と小学校の取り組みを中心に、ベルマーク運動について紹介します。



▲ベルマークを丁寧に仕分ける児童達（松尾台小学校）

誰でも参加できるボランティア ベルマークを集めよう！

愛の鐘を鳴らそう

ベルマーク運動は、幼稚園、小・中・高・養護学校などのPTAと、企業・ベルマーク教育助成財団（以下「財団」と記載）の3つの組織がすすめているボランティア活動です。全ての子どもに等しく豊かな環境の中で教育を受けさせたいと願う先生達の訴えをきつかけに、朝日新聞社が中心となって45年前に始まりました。ベルマークを学校単位で集めると教育設備品と交換ができ、さらに国外の子ども達への支援につながります。

参加数2263校でスタートした運動は、現在2万8000校を超え全国に大きく広がっています。ベルマークの鐘の絵は「国内外の友達に愛の鐘を鳴り響かせよう」という助け合いの心を象徴したものです。この運動を通じて子ども達に、思いやりの心と、また、小さなことでも積み重ねれば大きなものになるということを伝えたいです。

援助につながる仕組み

この運動は、ベルマークを商品に付けベルマーク資金を

このマークが目印

日常品から意外なものまで、次のような製品についています。

砂糖・マヨネーズ・ラーメン・石鹸・はみがき粉・高野豆腐・カレールー・チョコレート・乾電池・ローヤルゼリー・一輪車・ペットフード・生命保険・自動車保険・プリンタの使用済みカートリッジなど



提供する「協賛会社」58社と学校で購入する設備品を取り扱い、援助資金を提供する「協力会社」22社の支援で成り立っています。その流れは、PTAがベルマークを回収し仕分け、マ

クの表示点数を計算し財団に送ると、点数1点が1円として換算され、学校のベルマーク預金になります。そこから希望する設備品を協力会社で購入。すると、購入額の10%の金額が財団に割り戻され、へき地学校・災害被災校・開発途上国の子ども達の教育援助活動に使われます。

ベルマークの寄付は、学校関係者だけではなく、誰でもできます。全国には、自分の出身校にベルマークを送ろうという運動もあります。

町内から世界の子とも達へ

町内では、6小学校と六瀬幼稚園がベルマーク運動に参加しています。各学校のPTAはさまざまな工夫をし、より多くの収集に励んでいます。白金小学校では、町立図書館やジャスコなどに収集箱を

ご協力をお願いします

町内の小学校のPTAは公共の場所にベルマークの箱を置いて、住民にベルマーク集めの協力をお願いします。集まったベルマークは、学校の設備品購入に役立てています。どなたでも気軽に回収箱に入れていただけます。

ぜひご協力をお願いします。



▲六瀬郵便局に置いてある楊津小学校PTAのベルマーク箱

ベルマーク箱設置場所

サビエ・U.F.J銀行・ミニコープ・ジャスコ・ローソン・ライフオート・郵便局・ゆうあいセンター・図書館・イナホールなど

児童達も仕分けのお手伝い ～松尾台小学校の取り組み～

1月18日朝、登校してきた児童達がベルマーク袋を手に、1階の廊下に集まってきました。松尾台小学校では年2回ベルマークの回収週間を設けており、今日はその3日目。廊下には会社の番号が貼られた仕分け箱がずらりと並んでいます。4年生以上の上級生は、家から持ってきたベルマークや下級生が収集箱に入れたベルマークを仕分けてその中に入れていきます。低学年の児童達も上級生のお手伝いをしていました。

PTAベルマーク委員は財団が主催するベルマーク説明会に

参加したり、ベルマーク便りを発行したりして活動を盛り上げています。また学校行事であるお祭り集会では、ベルマークについての理解を深めてもらおうと、展示やクイズをします。委員長の高本由佳さんは「子ども達は熱心にベルマークを集めて持ってきます。一般の人達にも協力いただけたらうれしいです」と語っていました。

これまでベルマークで購入した設備品は竹馬・ドッジビー・ミシン・黒板消しのクリーナーなど。今年度は約37,000点が集まりました。

何点集まったかな ～六瀬幼稚園の取り組み～

幼稚園PTAの皆さん



六瀬幼稚園では、PTAが学期ごとに、ベルマークの仕分け・集計作業を行っています。2月15日は8人が朝から熱心に

取り組みました。会社ごとに同点数のベルマークを10枚ずつホッチキスやテープでとめ、それを集計し財団に送ります。委員の1人は「家で10枚ずつ仕分けして持たせる保護者もおられるので、助かります。ベルマークは枠より少し大きめに切ると、後の作業がし易いです」と、語りました。昨年はポットとデジタルカメラを購入し、園の活動に役立てています。

集めるの大好き

六瀬幼稚園年少組の天野一葉ちゃんは、毎月の幼稚園のベルマーク回収日を楽しみにしています。近くに住むおばあちゃんにも協力してもらって集めたベルマークを、ドラえもんが描かれたベルマーク袋に入れて持ってきます。袋にはご褒美のシールがたくさん並びました。母親の美絵さんは「買い物をする時、ベルマークがついているかどうか確認します。なるべ



お母さんと一緒にベルマークを切る一葉ちゃん

くついているものを選び、活動に協力したいです」と、話していました。

後編 集

家にあるベルマークを自分で集計し、金額に換算して見ました。ベルマークに付いている点数1点が1円。具体的な金額が出ると、小額ではあるけれどもこれだけ学校に寄付できるのだとうれしくなりました。今まで大雑把に集めていたのが、もったいなく思えてきます。

ベルマーク運動は、学校だけでなく国を越える、地味ではあるけれどスケールの大きなボランティア活動なのです。【いながわ特派員】